

各位

会社名 株式会社インソース  
 代表者名 代表取締役 執行役員社長 舟橋 孝之  
 (コード番号: 6200 東証プライム)

**新作コア・ソリューションプラン リリースのお知らせ (2022年4月～6月分)**

「働くを楽しくする」サービスを提供する株式会社インソース（本社：東京都荒川区、代表取締役執行役員社長：舟橋孝之、証券コード：6200、以下「当社」）は、本年4月から6月にかけてコア・ソリューションプランを新たに8本リリースしましたのでお知らせします。

※コア・ソリューションプランリンク先 <https://www.insource.co.jp/package/index.html>

◇新作コア・ソリューションプラン計8本

<b>組織全体でコンプライアンス遵守を図る</b>	<b>3本</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの観点で組織のコンプライアンスを強化するプラン</li> <li>・普段の活動と法令順守を繋げ組織価値向上に寄与するプラン</li> <li>・【ミテモ】組織を内側から変える！コンプラ違反撲滅プラン</li> </ul>	
<b>業務改善マインドと実践スキルを養う</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体最適・利益確保の視点で営業活動を洗練させるプラン</li> <li>・増える一方の担当業務を高速で進捗させる術を養うプラン</li> <li>・「自分がやる方が早い」から卒業し仕事を部下に渡すプラン</li> </ul>	<b>3本</b>
<b>個々人の意欲・実践スキルを高める</b>	<b>2本</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人の「壁」を乗り越え、モチベーション高く働くプラン</li> <li>・個々人の業務で頻繁に作成する文書の精度を上げるプラン</li> </ul>	

◆SDGsの観点で組織のコンプライアンスを強化するプラン

[https://www.insource.co.jp/package/compliance\\_sdgs\\_manager.html](https://www.insource.co.jp/package/compliance_sdgs_manager.html)

2030年までに持続可能な開発目標を定め、達成しなくてはならないが、具体的に何をどのように始めたらいいのかが分からないという組織向けのプランです。

日常業務の中で実践できる取り組みを提示し、すでに実践しているコンプライアンス違反防止活動を広義に捉えることで、SDGsにつなげていけるように管理職層を導きます。1～3回目は動画教材を用いて短時間かつ廉価に基本知識の習得・振り返りをし、4回目の集合研修でチームメンバーの行動を無理なくコントロールできるルールをつくっていただきます。

◆【ミテモ】組織を内側から変える！コンプラ違反撲滅プラン

[https://www.insource.co.jp/package/recurrenceof\\_violations.html](https://www.insource.co.jp/package/recurrenceof_violations.html)

3カ年サイクルで、組織の内情を知り尽くした従業員の皆さまとともにオリジナル教材を開発し、業務に潜むコンプライアンス違反の芽を自分たちで摘める体制づくりを実現するプランです。インソースグループのミテモ株式会社が、教材開発・研修ファシリテーターの育成・振り返りと次年度への意見集約を支援します。

経営層・現場の管理職の皆さまから過去に組織や業界で起こった不祥事例をヒアリングし、テキストや動画、スライド資料を制作します。各部門の管理職・リーダーに講師を担っていただきます。全社員教育を都度実施しているものの、似たような不祥事が繰り返されてしまうという組織におすすめてです。

#### ◆増える一方の担当業務を高速で進捗させる術を養うプラン

<https://www.insource.co.jp/package/heavyworkload.html>

入社から3～10年目ほどの若手・中堅層を対象にした、大量の仕事を遅滞なく進める力を身につけることを目的としたプランです。この階層には、管理職層が細かく指示を出さずともその意図を汲んで力強く業務を推し進めていくことが求められます。しかし中には自分に都合の良い仕事の進め方にフローをねじ曲げて他者に迷惑をかけてしまったり、大量の業務を消化しきれずに立ちつくしてしまったりという状況も時々見られます。

本プランでは、既存業務のやり方を変えるためのマインドセットや組織が求める優先順位のつけ方、社会情勢や組織の方針転換に対する自分の感情をうまくコントロールする方法、同時並行で動かす複数の業務の捉え方を学びます。

#### ◆「自分がやる方が早い」から卒業し仕事を部下に渡すプラン

[https://www.insource.co.jp/package/leaveitto\\_follower.html](https://www.insource.co.jp/package/leaveitto_follower.html)

一般職メンバーがいつまでたっても指示待ちのものである一方で、管理職層はプレイヤーの仕事のいつまでも持ち続け、全社的に生産性が低いということはないでしょうか。本プランでは、勇気を出してメンバーに仕事を任せることが組織のためと認識したうえで、限られた時間・人的資本を有効に活用しつつ成果を最大化するための考え方と指導法の習得を目指します。

メンバーに任せる仕事を洗い出す、相手の特性に応じた依頼方法を検討する、任せた後も並走するという3ステップで、任せる不安を軽減させます。仕事を渡して終わりにせず、困ったらいつでもフォローできる体制を作ることがいかに重要かという点にも言及する、全3回の研修構成です。

#### ◆社会人の「壁」を乗り越え、モチベーション高く働くプラン

[https://www.insource.co.jp/package/motivation\\_byage.html](https://www.insource.co.jp/package/motivation_byage.html)

これまでモチベーション向上研修の多くは、入社3年目ごろまでの若手や役職定年を迎えたシニア層に向けて多く実施されてきました。しかし近年、いわゆる中堅層の離職を食い止めたい・意欲の低下を改善したいというご要望が徐々に増えてまいりました。

この課題に挑むべく、当社では全社員を対象にこれまでの社会人経験の中で感じた様々な「壁」についてアンケートを実施しました。その回答結果から特定の年代に集中している悩みを提示し、それらを突破するためのマインドセット・実践スキルの身につけ方を学ぶプログラムを開発しました。本プランでは、入社3年目の25歳、仕事に慣れた27歳、ライフイベントを意識する30歳と、体力低下が始まる40歳をいかに前向きに捉え、駆け抜けていくかをご紹介します。

研修実施のみならず、人材育成に付随する様々なお困りごとをトータルサポートできるのが当社の強みです。今後も研修・人事ご担当者さまのお悩みに即したソリューションプランを提供してまいります。

以上

---

【お問合せ先】株式会社インソース

<https://www.insource.co.jp/index.html>

(取材・広報に関して)

社長室(浅井・石渡)

TEL: 03-5577-2283

(サービス内容に関して)

メディア事業部(小林)

TEL: 03-5834-2273